

各地区世帯数
 国頭 10,190
 中頭 45,171
 那覇 34,747
 島尻 24,814
 宮古 4,625
 八重山 5,148



PTA新聞 おきなわ



PTA新聞おきなわ 第494号
 《発行》
 (一社) 沖縄県PTA連合会
 〒900-0002 那覇市曙2-26-27
 TEL (098) 867-3582
 FAX (098) 867-0309
 責任者 池間守
 企画・編集 広報委員会

令和4年度 沖縄県PTA世帯数 124,695 ~子ども達の笑顔あふれる社会へ~



開催御礼

2022年12月17日(土)・18日(日)

第67回日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会



おきなわ大会
シンボルマーク



第62回童話お話・第63回意見発表大会



広報紙クリニック・沖縄市PTA連合会主催



祝卒業！おめでとうございます！



～開催御礼～

沖縄県が本土復帰50周年の節目にあたるこの年、九州ブロック研究大会が本県にて開催されたことを心より嬉しく思っております。

本大会開催に際し、九州各地より多くのPTA会員の皆様をお迎えするにあたり、沖縄県PTA会員の総力を挙げ、おもてなしをいたしました。ご満足いただけましたでしょうか？

本大会に参加された会員各位におかれましては、航空便の調整や本県内での移動手段の策定等での準備不足も相まって、様々な不安を与えてしまったことは非常に心苦しく思っております。

しかし、大会そのものに対しては非常に好意的なお言葉を頂いており、様々なことが報われたと安堵しているところでございます。

この大会を成功裏に終えたのも、九州ブロックの結束力の賜であり、ゆいまーるの心がつながったものと感謝申し上げます。

コロナ禍以降、PTAに対しては不要論等、風当たりが強く感じられるところもございしますが、九州ブロックの団結力を以てこの難局を乗り越え、会員相互に研鑽を高める場を提供し続ける団体であり続けたいと考えておりますので、引き続きご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

結びに、本大会を支えていただきました日本PTA、ならびに九州ブロックPTA協議会の皆さま、本大会運営に多大なる尽力を頂きました沖縄県PTA連合会会員各位、その皆さまを支えておられるご家族様の今後のご健勝を祈念すると共に、本大会へのご支援に心より感謝申し上げます。

大会スローガン

『ひろげ・つなぐ・未来へのリレー』

～結のところで～

第67回日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会

大会長 池間 守

大会実行委員長 伊禮 靖





当日の様子を県P広報SNSにて一部ご紹介!



シンボルマーク：かたい絆で笑顔でのりこえよう

作者：西原町立坂田小学校6年(当時)比嘉美沙希さんの先品

思い：沖縄が大きなかたい絆をむすんで協力し合い、どんなことでも笑顔で乗り越えられるようにするための意味と、たくさん、沖縄のいい所があるという意味があります。周りは縄を表し、ジンベイザメや他の生き物が笑っている所を「笑顔」で表しました。

大会誌→



Instagram



Facebook

復活！リアル開催に歓喜♪

童話・お話・意見発表大会



八重山地区でも大成功！



73年前からの沖縄県独自開催！

沖縄の児童生徒なら誰でもチャレンジする事ができるこの大会ですが、コロナ禍で中止や動画による審査等での開催など、やむを得ず従来の内容や人数を縮小しつつ今年も取り組まれました。

1949年に初代県知事でもある当時の沖縄教職員会長 屋良朝苗先生の指導の元、学校の先生が一丸となって戦後の沖縄の子ども達に、語彙力（単語の知識と使いこなす能力）発表の力をつけ、表現力を高めること等をねらいとして『童話・お話・弁論大会』は設立され73年を迎える沖縄県独自の素晴らしい大会です。

開催当初は副賞などはなく当時の学校後援会（現在のPTAの前身）にお願いし副賞をいただき大きな成果とともに長年の歴史を重ねています。

PTA主催の行事となったのは第31回（昭和55年）後のPTA役員と校長会での反省会で「PTA行事にして、保護者側で運営を統括し教師側は指導と審査の責任を果たすこと」となり、現在では全県的なものとなりました。双方の特性を生かして役割を分担し合うことが極めて大切であり、今後も沖縄の児童生徒に素晴らしい機会を与える事と思います。これまで多くの児童生徒が家族や先生方に支えられ、挑戦してきたステージ！経験を得て成長し、全国そして世界へ羽ばたく沖縄っ子の活躍を応援しています。



- 意見発表の部 最優秀賞
野底 陵大さん
石垣中学校3年
「逆境を越えて」
- お話の部 最優秀賞
日野 いさりさん
海星小学校6年
「神様からの挑戦状」
- 童話の部 最優秀賞
砂川 結香さん
海星小学校3年
「王様になったヤンバルクイナ」





～国頭地区～ 小学校1～3年・童話



小学校4～6年・お話



中学校1～3年生・意見発表

60回～73回 14年連続！ 繋いできた挑戦が子どもの笑顔に



国頭地区の本部小学校では、第60回からお兄ちゃんから4番目の妹まで毎回、1位を目指しベストを尽くしている仲程家の母・仲程しのぶさんにお話を伺いました。今は大学生の長男が小1から県大会出場を14年長女、次女、三女、四女と挑戦。練習方法は何度も何時間も孟特訓というスタイルでは全くなく、言葉にするそのもののイメージやその光景を子ども達それぞれと対話しながら表現してみる。部屋よりも外、外よりも会場でその場だったらどうだろうと子どもと一緒に向き合い楽しんでいる。毎年恒例の夏休みの宿題が家族で取り組み上の子の姿を見て下の子たちも目指すようになり、やって良かったよ！と引き継がれてきました。大会のDVDを購入しては学校で一緒に挑む子達にも活用してもらい共に吸収材料として功績をつかみ、町代表、地区代表となり、親戚の子ども達と同じステージに立つ機会へと広がりました。やんばるから県へ挑むことで見てきたのが地域独特のイントネーションの課題や、過去に我が子達と受賞を手にした子達の進路も「童話・お話・意見発表大会」での経験からの成長を感じ、引き続きこの大会に期待が膨らんでいます。



長かった...60回から出ている大会1/22最後の舞台！県大会が読谷村文化センターにて開催されました。夏休みに原稿を書きクラス代表・学年代表・学校代表・町代表・地区代表...を経て県大会出場となります。そんな選ばれた子たちの発表を実際に見る機会を与えてくれた四女に感謝！もうみんな凄くてカッコよく感動で鳥肌立ちっぱなしでした。約半年一つの話しを練り上げていく、その間運動会、マラソン大会、お正月...色んな行事もあり毎日の練習がキツかった時もあります。でも自分で決め兄姉と同じ県大会の舞台に立ちたい！と決めたから本当によく頑張り成長しました。第60回大会に初めて兄が出場した時この子は生まれてもいませんでした。自分も同じ舞台に何度も立ったことがある三女。今回チャレンジして途中で敗れた五女まるで自分の事のように緊張マックスの応援団。どんな事も自分で頑張るって決める！それを家族みんなで全力で応援する！喜びも悲しみも悔しさもみんなに分かち合う事ができました。みんなで築き上げてきた歴史...今回で盾の数が二桁になった...いつも応援して下さる皆様に本当に励まされております。心から感謝です。ありがとうございます。(本部小学校 保護者 仲程)

広報紙クリニック (From沖縄市PTA連合会)



2月11日沖縄市広報委員会主催により市内のPTA関係者を対象に広報クリニックが開催されました。

テーマ：「広報活動デジタル化への第一歩！勉強会」
～「簡単ペーパーレス化」と
「読まれる広報紙」について～

前半は、最近利用が増えてきたGoogleフォーム、QRコードの作り方やYouTubeの活用方法など単Pで使える技を色々と教えて頂きました。

後半は、読みたくなる広報紙！をテーマに講演会
広報誌コンクールで受賞した広報紙を実際に囲み
情報交換が行われました。



広報紙クリニックに、上本部広報役員として特別に参加させて頂きました。

各学校のPTA役員がどのように導入するかについての活発な議論や、事例の共有が行われていたことに、とても感謝を受けました。

PTA役員の皆さんの意欲が高く、私も刺激を受け、パワーを頂きました。

(本部町立上本部学園PTA広報部長 渡久地)



◎編集後記◎



広報紙494号を発行します。

今年度は日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会開催に合わせSNSを立ち上げました。今後も不定期で更新していきます。

今年度の活動を通して各委員から広報として紹介したいことのアイディアを色々と頂きました。そのアイディアも来年度の活動につなげていければと思います。

(広報委員長 荒木正隆)